

日本共産党 沖縄山手会議員

ひめだ高宏ニュース

No. 1088

16.2.2

日本共産党 新春のつどいに73人。

日本共産党和歌山市南ブロック後援会は、1月31日(日)片貝波の万葉館で「筑って・元気に2016年新春のつどい」を開催。73名の方が参加。話あり、歌あり、落語あり、参加者全員で沖縄のカチャーシーを踊るなど楽しいつどいとなりました。

坂口多美子さんの元気な訴え

オープニングは、二胡と電子ピアノのグループ朋友(ホンヨウ)が童謡などの演奏をしてくれました。山本会長の開会あいさつに続き、坂口多美子参院選挙区予定候補の訴えが。

元小学校教諭の堀井雅文さんが「一小学生の戦争体験を楽しく踊りました。」

取りたて新鮮野菜の提供あり

紀三井寺の新畑さんから野菜(大根、小松菜、ほうろく、ネギ、わけぎ)水んそう、ねぎ、わけぎ)をいただきました。ありがとうございます。

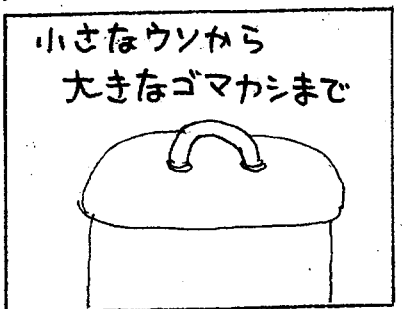
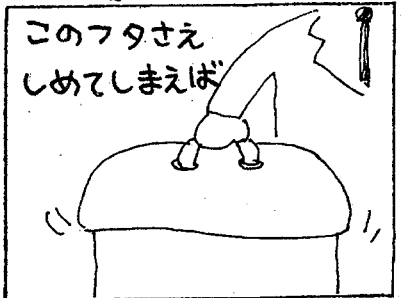
歌々7・9和歌山大学襲撃を中心に「と題して短いながらも、とてもおもしろい話をしていただきました。

下田日本共産党和歌山支部の代表が参加。おもしろい話をしていただきました。

初出陣の落語家「おれん」が自作の社会派落語「七〇」で行こう」を披露。笑わせしてくれました。

沖縄の三線グループ「ずん」の花の歌と踊りは、後援会のおなじみで、みんな楽しく踊りました。

フリーの人々



シューリーの忘れ物あります。

1月31日の「つどい」で女性用のシューリーの忘れ物がありました。おまじくOK. ひめだまでご連絡ください。

今週のフリー人々 (その34)

トホホな金銭感覚

甘利明経済再生担当相自身と秘書が千葉県の建設会社から道路工事をめぐる都市再生機構(しら)との神像交渉について口利きし1200万円の供与を受け、あっせん利得罪ではないかとの問題から閣僚を辞任しました。「供与は口利きした見返りではないが、安倍政権の足を引っ張ることは堪えがたい。秘書がやったことを秘書だけの責任にすることはできません。」



ひめだ高宏

2016 国民新聞 和歌山のジュクティーマップ

1月22日(金)和歌山学習協会の旗開きでもらった。ジュクティーマップを紹介しま

す。ジュクティーマップとは、各企業の内部留保①を明らかにし、月額2万円(ボーナス6カ月分を含む)36万円の貸上げに必要な取り崩し率②を示したものです。内部留保には固定資産が含まれ貸上げに回せないという経営側の主張もあること

企業・持ち株会社名 正規従業員数	①(億円)内部留保 現金同等物	②(%)内部留保額の 取崩し率	③(%)現金同等物の 取崩し率
①新日鐵住金 84,447人	22,916 1,129	1.33	26.9
②花王 32,707人	6,230 2,287	1.88	5.1
③日本通運 67,347人	5,908 1,489	4.1	16.3
④関西電力 33,539人	20,584 3,034	0.58	3.9
⑤大阪ガス 20,982人	7,098 1,628	1.06	4.6
⑥きんでん 9,563人	3,322 936	1.04	3.7
⑦日本電信電話 241,593人	95,128 8,492	0.9	10.2
⑧セコム 37,943人	8,146 2,417	1.7	5.7
⑨島精機製作所 1,766人	1,011 131	0.58	4.8
⑩南海電気鉄道 8,808人	907 211	3.5	15.0

から、現金及び現金同等物(有価証券など現金化しやすい資産)の取り崩し率③も示されています。

⑩資料は50社まであります。

ジュクティーマップ 日本共産党です

洗濯機に感謝!

わが家の洗濯機が突然壊れて使えなくなりました。急に使えなくなるとしても困ってしまつて有り難さに気付くものです。昔だったら

たらいと洗濯板でゴシゴシと大変な重労働だったのだろくなと冷たい風が吹く外を見ながらしみじみ思いました。初めて電気洗濯機が日本に製造販売されたのが昭和5年、370円だったとか。銀行員の初任給が70円の時代で水だけ高価だったかがわかります。進化を重ねた洗濯機、お

店で買せてもらつて、いろんな機能が付いていて驚きました。急な出費は痛手ですが、重労働の家事を代わりにやってくれる洗濯機に感謝しながら使いたいと思います。



坂口 美子 (参院選挙区)

潮流

まだ一月ですが、早稲々と振る舞ふこと「口大辞林」です。汚いお金で口利きを頼み出ても、ぱり拍むのが「矜持」です。「あまりにまじまじに」

「口利き」は「口利き」の流行語に「あまりにまじまじに」。「甘利大臣の辞任会見をみて、思わぬ口をいつて出た言葉です。1000円や1万円ではありません。百万円もの大金です。大臣室や地元事務所でもらつていながら「記憶の整理」に何日かかるような人物に、TPPのような日本の未来にかかわる大問題の国際交渉を任せてきたなんてもう「あまりにまじまじに」

▼口利き・接吻、汚いお金をもらつても平然とする。迷わられなくなる「秘書」のせいにする。昔もいまも変わらぬ「あまりにまじまじに」金権腐敗の自民党の言い訳。庶民とかけ離れた、その金銭感覚は言語のすりかえにも表れます▼往々際限のない「政治家の矜持」の悪化。「政治家の矜持」と「開き直る」「矜持」とは、「自信や誇りを失って、

堂々と振る舞ふこと」「口大辞林」です。汚いお金で口利きを頼み出ても、ぱり拍むのが「矜持」です。「あまりにまじまじに」。「甘利大臣の辞任会見をみて、思わぬ口をいつて出た言葉です。1000円や1万円ではありません。百万円もの大金です。大臣室や地元事務所でもらつていながら「記憶の整理」に何日かかるような人物に、TPPのような日本の未来にかかわる大問題の国際交渉を任せてきたなんてもう「あまりにまじまじに」▼「深くおびびった」といった中身のないう言葉で済ませませぬ。大臣の言葉も言葉もない人物をかばい続け、疑念の真相解明に「一言もない」「あまりにまじまじに」。「アベ政治を許さない」と国民の「教示」で戦争法ともども退場させるしかありません。

赤旗 日刊紙 3497号